



まちの話題お届けします

● みんなでカキ殻拾う Day

学生とともに阿蘇海をきれいに

2/26 特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA) と阿蘇海環境づくり協働会議による「みんなでカキ殻拾う Day」が阿蘇海沿岸で実施されました。

小雪が舞う寒さの中、ボランティア学生・地元団体関係者約 30 人が参加し、堆積するカキ殻約 1.3 トンを回収。回収したカキ殻はごみとして捨てるのではなく農地に散布するなど、山・川・海が連なる与謝野町で回収したものを大地に還元する「自然循環」の取り組みとなりました。今後も阿蘇海環境改善に向けた取り組みを進めていくため、8 月にも同協会の協力のもと実施される予定です。



阿蘇海に流れ込む水路で作業する学生たち

● 与謝野町の環境未来 2023

身近なことからエコを考える



環境クイズに答える来場者

3/5 与謝野町の環境保全や地球温暖化防止対策の一環として、一緒に交流しながらエコについて考える啓発イベント「与謝野町の環境未来 2023 [主催/よさの百年の暮らし委員会 (愛称: みらいふ)]」が、加悦谷ショッピングプラザウイルで開催されました。

当日は約 100 人の来場者があり、エコ緑日・発電体験・環境クイズ・グリーンカーテン相談・啓発パネル展示の各ブースを親子で回り楽しむ様子や笑顔が見られ、環境問題を考える良い機会となりました。

● ちりめん街道ひなめぐり 2023

街道を彩るお雛様



ちりめん街道内の民家に飾られたお雛様を見学する来場者

3/4 重要伝統的建造物群保存地区「ちりめん街道」において、街道内の民家などに飾られたお雛様を見て回る「ちりめん街道ひなめぐり 2023 (主催/ちりめん街道を守り育てる会)」が 3 年ぶりに開催され、多くの来場者でにぎわいました。

旧尾藤家住宅 (府指定有形文化財) や民家など約 20 軒では、各家々で大切に受け継がれてきた歴史あるお雛様に併せて、丹後ちりめんの晴れ着や西陣織の帯なども展示。また、飲食や物販、体験が楽しめる「街道マルシェ」も同時に開催され、来場者は晴天の下、お雛様と飲食を楽しみながら街道を巡っていました。

● てつじの「米から日本酒を造る」

与謝野町の水で造る日本酒

漫才コンビ「シャンプーハット」のてつじさんが企画する「米から日本酒を造る 2023」。田植え・稲刈りは東大阪市で行われましたが、日本酒の仕込み・絞りは、与謝娘酒造 (与謝) さんで行われました。与謝野町有線テレビでは、仕込み・絞りの工程を密着取材させていただきました。その様子を町公式 YouTube チャンネル (下記の二次元コード) で公開していますので、ぜひご覧ください。



有線テレビの取材を受けるてつじさん

